

STRICTLY MEMBERS ONLY

M. C. (P) No. 2764

1971: 2 月號

月報



新加坡日本商工會議所

月報第13号

February 1971

= 目 次 =

マレーシア1971年度予算案	——	檜垣 馨二	1
マラッカ海峡調査余話	——	佐藤 一彦	5
1970年業界の回顧と1970年代の展望“プラスチック”	——	肥後学知部会	8
英国通貨の十進法移行	——	東京銀行	15
広報欄	—————		22



マレーシア 1971年度予算案

東京銀行

檜垣 馨二

マレーシア 1971年度新予算案は昨年12月22日発表された。本予算案については(1)ラザック新政初の予算案であること。(2)マレーシア第2次5ヶ年計画初の年度予算であること。の二点から、又経済基調として同国基幹産品たるゴム、錫、大産品国際価格低下傾向からして早くから大方の強目を集め、かなり厳しいものになると予想されていたが、租税負担増も押し込まれるものと見て、全体として堅実で大方の予想に反した。

予算の背景となる、1970年度経済諸指標が未だまとまっておらず、且つ開発予算と密接に関係する第2次5ヶ年計画の発表前(註、本年2月再開される国会に提出される予定。)である現在、本予算案に論評を加えることは出来ないうが、以下予算案主要項目の概略を述べることにする。

2. 予算の目的。

蔵相はその予算発表演説の中で「我々の政策は現実を即して、公正・平等のものであり、その目的は各民族間の低所得層の収入を高めることにある」とし、次の3点を本予算案の目的としている。

- (1). 失業者の減少。
- (2). 生産性の向上及び、低所得層の収入増加。
- (3). 上記2項目を達成する為の経済成長率の高率達成。

2. 予算項目及主要項目の内容.

(1) 一般会計

註:金額単位百万M\$又()内は
1970年増減(Δ)

(才入)

輸出税	234	
輸入・消費税	807	
所得税	632	
その他諸税	344	
小計	2017	
非税収入(郵便電報)	398	
合計	2,415	(285)

(才出)

国防・治安	619	(35)
社会福祉(教育・公衆衛生)	714	(37)
天然資源・商工業・通信	230	(10)
債務・償還・恩給等	900	(99)
合計	2,463	(181)

一般会計純 Δ 48 (Δ104)

今年度予算案のうち歳入項目の特徴は次の通り。

(1) 直接税の減少。

直接税は Payroll Tax の廃止(此の分減収見込 34 百万 M\$) 東南V-1 個人所得税率の 30% から 20% への引下げ、サラワク州商業登記料の減額等の措置により減少を見込ん

いる。上記の payroll Tax の廃止は工業化政策の一翼として労働集約的産業の負担軽減を計ること
又後の二項は東西レートの課税平等を狙っている。

(四) 間接税の増加

一才間接税は輸出税こそゴム、錫価格の低下を折り込み27百万M#の減収をみているが(註:輸出量そのものは増加する見通しであるがゴムポスト当りM#54 錫ピクルス当りM#625)輸入消費税は、石油及石油製品に対する輸入税のup(西レ-IPガロン当り+¢10 又潤滑油 +¢5、但レサラクでは二項目共+¢15)、粗糖及精製糖輸入税トン当+M#56(東レ-IP)、テレビ、冷蔵庫、扇風機、EP22等輸入税5%~15%のup等102項目に亘る商品の輸入税引き上げを行、同時に製造業の原料、産業用機械を除く品目の輸入付加税率を2%から4%に引き上げた。又テレビ(10%又は1台M#50)冷蔵庫(10%又はM#30)扇風機(10%又はM#5)EP22(10%又はM#50)等が国内で組立られれば()内の消費税が課税されることとなった。

(二) 閉鎖予算

閉鎖予算は前述の通り2月に再開される国会に上提される第2次5ヶ年計画と共に策定される予定であるが当面887百万M#とし、主要配分は社会福祉103百万M#、国防治安194百万M#、天然資源253百万M#、商業通信213百万M#、準備金外124百万M#とし、総額887百万M#のうち、682百万M#のNET貸出しを含む。財源としては、国内借入400百万M#以上、外国借入160百万M#が予定されているが、その他は不明である。

(三) 結び

以上、マレーシア 1971 年度新予算案の概略を申し述べたが、入面の確保と財源として 4 億 # 以上の国債の発行 (例年通り C.P.F. fund で主として消化される) の面がポイントとなる。尚、家運製品消費税は、合併企業に影響を与えるものと思われ、一斉の関税 up との兼ね合いで、今後の推移が注目される。



マラッカ海峡調査余話



マラッカ海峡協会調査団長
理事 佐藤一彦

今般、約2ヶ月にわたり(10月4日/12月19日)本格的な、マラッカ海峡水路調査が、関係4ヶ国計220名が参加し、合同で行われまして、幾多の刮目すべき成果を挙げる事が出来ました。

調査結果についての正式発表は、今後この資料を整理し、検討した上で、71年4月頃、行なわれる予定でありますので、今回は結論的な事は、差控えさせますが、一応雑談的に興味のある事を、少し述べてみたいと存じます。

現在マラッカ海峡を通るタンカーが、如何に多いか、具体的に申しますと、1時間内に20万吨型が2隻、小型になると(1万吨以上)更に10隻が往復して居り、隻数は今後、益々急テンポで増加して行くことが、予想されます。その上、この海峡は在界で一番長く、又3ノットの潮流、無数の島々がある処にも拘らず、従来水路について英海軍がマレーシア側を部分的に調べた以外、之といった本格的調査はなされていませんでした。

そこで、43年9月より、日本を加わり、関係各国間で、詰合いか、惹きつけて、今回の調査となった次第であります。

調査団は、2編成で、Party 1がインドネシアのCommand、Party 2が日本回りの統率という事です。

Party 1 は ガゼナル号 (西独製)、吾々の シラニータ号 (日本製) に乗り作業を進めました。

終つてみますと、まず申上げたのは、4ヶ国共同調査という事におき、約2ヶ月間にわたり、検討を重ねただけあって、結果的に大変うまくいった事でありませう。各口関係者共、非常に熱心かつフランクに駐合一致協力して作業を行いました。そして各口共、日本の水路部の技術水準が非常に高、事を認め、例えば欧米で最近の水路学を勉強してきた者すらそれが日本のものより劣っている事を知り、今後は機器類も日本から購入したいし、日本水路部内に Training School を設けず駐も出て来ていこう程であります。此の為業務面での成果としては、例えば従来、スーシ側とインドネシア側で旧々に測量していた結果、同じ灯台の位置が両者で東へ400m、南へ60mも誤差があった、といふこともわかりました。

次に水路の中に水深23m以下の浅い処が29ヶ所も踏見されました。大体20万トのタンカーが満船すると吃水は19mも沈みます。船関係の方は快存知ですが、この位の船が全速(16ノット)で突っ走ると、約4m東に足が入ります。従つて20万ト型が通るには、どうしても23mの水深が必要にはならないのであります。それが29ヶ所もそれ以下の処があると言ふ事は、大変重要な問題で、殊に Phillip 水道、Nipa の南には、約1000mにわたり21.5m/20.20mの処があり、これは西から来た(満船した)タンカーが下度、斜路を変えり処であります。現場側の吾々としては、dredge すべきである、と一致した意見であります。最終決定は東京の meeting で決められると存じます。

又陸地に近い海底は常に一定方向の波動が繰り返るので海岸線にそって、Sand Bank と呼んで砂の堤が出来たものであります。これがこのマレーシア沿いに、極めて顕著に出来ているのが解りました。大きいもので200m中で20mも、もり上がった岡となつて居りました。そしてそれは保々に、且常に動いて居るので、大いに注意を要するに思われます。

前にも述べましたように、今回の結果は、71年4月頃共同発表されますが、これも尚海峡のごく一部の調査であります。今後は更に200万トン型以上のタンカーは続々と出来上るとし、50万トン型も走るとなれば、どうなるのか、といつてロンボック海峡、セレベスのサンゴ礁地帯の調査等も全くの身つかずであります。此等をどうするか、之も共同発表時に決定されるものと存じますが、吾々としては今回の調査をもつて漸く茲に、本格的な仕事が一スタートしたものと考えられる次第であります。

(本稿は、同氏が運輸サーヴイス部会 11/12月例会に出席下され、講演された内容を、同氏の解説を得てまとめたもので、文責は部会 = 藤野 = にあります。念為)

(編集部註)

本件は調査団の非公式な現地報告であり後日関係口から正式に発表される段階に於て正確なデータが提出されるものと思ひますのでお含み願ひます。

1970年業界の回顧と1970年代の展望

“プラスチック”

肥料化学品部会

A 1970年業界の回顧と1970年代の展望「プラスチック」

1. 序……国民総生産を自由世界二位に迄押し上げた1960年代の日本産業界の躍進の中で、肥料化学品総生産も名目4倍、実質5倍の拡大を遂げたが激烈な競争に終始した業界の内容は表面の輝きとは必ずしも一致せぬものがあった。そこから引出された1970年代への対策は、アンモニア、尿素に続いてメタノール、セナー、エチレンセナー構想に代表されるプラントの大型化による新たな競争力の養成に要約されるが、その現実的稼動に伴う内外市場への影響は、既に1970年代の幕明けを期して現れ始めに觀がある。

一方、当地シンガポールに於ける1970年の肥料化学品業界は安定化したインドネシア市場への一般的指向を強め、従来固有の順調な成長を継続した他、上記先進工業国内の体質変化の影響を早くも受けつつある特記すべき出来事を記録した。肥料化学品部会では、1970年の広範多岐に亘る業界の回顧と1970年代の展望を特にプラスチック業界にしばって行い、争とした。

シンガポールのプラスチック業界は大型市場とは云へないが、発展途上国地域と、先進工業国の交点にあり、特に1970年は両地域に新たな動きが出現し出した年であり、その相互作用を分析する上に興味ある対象である。

2. ポリエチレン加工業界の内容変化。

既に過去数年間、可成りのピッチで伸びて来たポリエ

チレンの輸入量は、他樹脂に比し伸張率緩慢で、対前年比推定105%と1970年は一服模様であった。製品フィルムの卸売価格も5#0.46-0.48(軽色装用無地16.当り)とF-1市場等と比し、5#0.02-0.04安く、ある行詰りを感じさせた。

ポリエチレン輸入量(含高圧、中低圧)

1966	6,848.215 M/T	100 指数	
1969	16,397.665 M/T	239	100 指数
1970			
(1-10月)	13,949.805 M/T		
(1-12月推定)	17,217.548 M/T	251	105.

1970年1-10月の総輸入量は13,949.805 M/Tが記録されており、1月-12月を比例推定すれば16,739.766 M/Tで1969年を僅か8%上廻ったにすぎぬ結果となる。但し、第4四半期は例年輸入の活況な期間であり、修正増量を要するが、一方1970年末は、東南アジア一円、やや不況下であり、これが相殺要因となり5%程度の伸びに終ると推測する。

かかる状況下では、市場は必ず体質変化を起すものだが1970年のシンガポールに於ても、此分野の主要な高圧ポリエチレンフィルム生産の、その胎動が見られた。主として零細企業の設立により急激に伸びて来たフィルム生産の中に大型企業が座を占める動きが出て来た。

1970年10月末現在、ポリエチレン樹脂輸入に占める日本品の率は89.10%で1969年末の79.79%を上廻っている。昨年spotで入ったフランス品、通算切上で苦戦した西独品の後退により、日本品は圧倒的占拠率を示したが高圧ポリエチレンに関しては弱含み乍ら、価格はよく維持

された。これに対してポリエチレン輸入量の約15%を占める中低圧、ポリエチレンについては、日本メーカー間の乱戦の火蓋が切られ模様で長年の概念を破り（高圧ポリエチレンより安いものも現れる始末となる。エチレンプラント大型化後の対策として比較的市場価格の高かった中低圧品が狙われるのは、当然乍ら、1971年以降の本格的競合期を待たずして高圧品との価格関係が逆さまに逆落込んだ事は、供給側にとって誠に深刻な問題であると同時に、日本の業界事情の当市場への波及速度は益々早まっている事を痛感させる。

備え、シンガポールでは、Plastic rope 工場が一家 Plastic woven bag 工場が四社出現し（後者の主要消費はポリプロピレン）これに大型中空成型を合せ、これ迄一般雑貨に限られ、夕入伸縮ミの中低圧品市場に新たな市場が構成され、日本業界の困窮を別の立場から見守っている。

3. ポリプロピレンに新市場

ポリプロピレンはこれ迄、フィルム用の特性も成型用の特性も、ポリエチレンに対する価格差を超えて迄、要求されるに至らなかつた。輸入量も月間100屯を越へ上廻る程度であったが、1970年は、対前年比1.5倍程伸び、此分野に關する限り近く香港を凌駕すると見られる。

原動力は周辺を dynamic に動く肥料、穀物、砂糖、油脂、原料、飼料等の包装用 Woven bag の生産開始であり、香港よりもシンガポールに適した業種である。此種工場の具体的検討は、シンガポールでは1967年に開始されたが初期に於ては、麻袋の厚い壁を破る事は出来なかつた。その後1970年4社がこれを具体化する系列が操業に入る迄の天産物対プラスチックの葛藤と replacement の過程は、後日の参考となるものが多々あった。大凡、このやうな replacement の過程では、

- (1) 心理的抵抗の克服
- (2) 品質的問題の克服
- (3) 価格の損失の克服

を要請し此(1)に対しては時間を(2)に対しては技術を要する事之う迄も争いが(3)に対しては、機会を要する之う争い知らうか。

1967年当時ポリプロピレン樹脂の価格は大体US\$ 330.00 M/T CIF SINGAPOREであったが、1970年にはUS\$ 260.00 台に落ち込んだ。

一系列800屯/年の樹脂消費として実に年間一系列US\$ 56,000.00の採算変化がもたらされた事を知る。この場合も日本樹脂メーカーの乱戦が寄与する事と見た。ところが Woven bag に関しては日本としても未だ他国に譲りぬ産業であり、シンガポール業界ともある種の競争が予想されることは、我々に新しい問題を提起した。

4. 鹽ビ、早くも現地生産

1970年シンガポールの鹽ビ業界には、日本、シンガポール両国化学工業の Coordination について重要な局面を見せた。

シンガポールの鹽ビ輸入量は1966年2,189 M/T に対して1970年は10,832 M/T と推定される。(1-9月8,144.425 M/T が記録されている) 5ヶ年間に約5倍に急増すると同時に Compound の輸入から殆んど Straight resin への転換が行われた。

曾て日本の業界から鹽ビレザン等の製品が offer された時、シンガポールでは既に現地生産が開始されており、原料 Compound の引合があった。Compound を offer した時は、他の東南アジア諸国に先がけて Compound 工場があり Resin を安く供給してくれと要請した。さて1970年日本の鹽ビ業界には、過剰生産が予見され、成長

したシンガポール市場に対し、おもむきに売浴せる準備が開始されたが、此身シンガポールには PVC Polymerization plant 建設の穂音が鳴り、日本業界の期待は、又々 one point が此、シンガポールからは monomer の安価供給が求められる結果となった。

5. 業界交流の新局面

紙面の都合もあり、其他樹脂についてはポリスチレンが1970年1~10月輸入量2.617 M/T、1~12月で約3,140 M/Tと推定され、1969年の2.888 M/Tに比し々々頭を打った事、ABS Polycarbonate, Polyacetal 等 engineering plastic については試行錯誤の段階、EVA は履物用に堅実な伸び、FRP 用 polyester 樹脂はシンガポール内過当競争、合板接着剤用樹脂好調、ノルウェー系新工場出現して島内ニ工場の競合と見る事報告するに留める。

循て、これら全々の底流として1970年の特記事項は、シンガポールに於ける石油化学工業実現に対する動きである。1970年を通じて、その feasibility が日本企業を含まない一々のグループにより、真剣に調査された事は特筆に価する。

一方シンガポールに於ける四大汎用樹脂ポリスチレン(高圧、中低圧)ポリスチレン、塩ビ、ポリプロピレンの年間消費量(加工輸出を含む)は人口当り12 Kgs を推定され、業界の体積上、香港と比較すれば40 Kgs がその可能性を木唆する数字とならう。

1975年シンガポールの人口は220~230万人程度であらうか。いづれにしても汎用樹脂10万屯/年の市場の現出が危ぶまれる。

更に周辺諸国が同種計画を推進しているとなると、シンガポールが化学工業化を目指して提携すべ

と市場はプラスチックの流れを逆流させる方向にある
事に行かうか。

何れにせよ、シンガポールの化学工業化程、我々に国際
分業に関する philosophy そのものの変革を厳しく迫り
来りものはあるまい。又 philosophy そのものの変革に成
功したとして日本の業界には、更に深刻な現実がある。
総体としては世界に冠せりとも見える日本の化学工
業界も個々の構成要員は国際的水準で評価する
限り脆弱で金利の重圧、過当競争による消耗に
あえて他に手をエシのべる余裕を欠くものが多い。
二重構造の底辺も未解決である。東南アジア発展途
上国への協力も、小手先の問題でなく日本業界の基礎
体力、そのものを問題とする所迄来ようと思う。

要は、日本の業界として、その自覚を何処迄もてる
か、一方シンガポールの業界としては、日本も又貧乏アジア
の苦悩を内包している事への理解が望まれ、その現
実直視の中から良き *Coordination* を創出す事であらう。
1970年の日本、シンガポール両国プラスチック業界の交流
は、殊々方面で我々にどう云う事を考えさせる *turning
point* を記録したと思う。

以上

B. 当部会メインイベント。

1970年、特記事項なし。

1971年1月末、化成肥料調査団 (*The Japan
Compound Fertilizer Mission*) 来星予定として商社
懇談会及びジュロン地区工場見学等当部会に
於て出来る限りの協力を行う予定。

調査員の長

—「—員

—「—

—「—

—「—

—「—

向山氏(三菱化成, 農材事業部長)

小竹氏(日本合同肥料, 貿易部長)

荒岡氏(多木肥料, 東京事務所長)

館山氏(昭和電工, 農事課長)

星岡氏(三井東圧, 千葉工業所製
品工場長)

佐々木氏(化成肥料協会, 業務
部貿易課長)

以上

英国通貨の十進法移行

東京銀行

英国通貨の十進法移行

(問) 1971年2月15日から実施される英国通貨の十進法移行について説明して下さい。また新旧補助通貨単位の換算表があればお教え下さい。

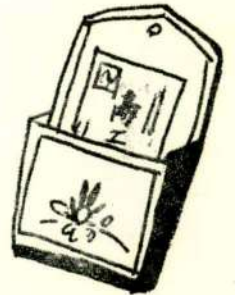
(小樽市 S株式会社)

(答) 1971年2月15日(月)を期して英国通貨の十進法移行が実施されます。今回の通貨改革はポンドの補助通貨単位であるシリング、ペンス(二本建)のペンス一本建への移行であって、通貨価値の変更を伴うものではありません。すなわち、現行の1ポンド=20シリング=

240ペンスという体系を十進法による1ポンド=100ペンスに切替えるもので、貨幣単位としてのポンドに変更はありません。ただし、従来のペンスは $\frac{1}{240}$ ポンドでしたが、新制度では $\frac{1}{100}$ ポンドとなるので、全く新しいペンス(new pence)の登場と言えます。

十進法移行に関しては、1966年12月12日の白書^{*}によって大綱がきめられて以来、十進法委員会(Decimal Currency Board)がその実施に関して細目の検討を行ってきましたが、永年の伝統を打ち破って新制度に移行するのですから、通貨史上正に画期的なことと言えます。以下その概要についてご説明致します。

* White Paper "Decimal Currency in the United Kingdom"



新硬貨(表面)



新1/2ペニー



新1ペニー



新2ペンス



新5ペンス



新10ペンス



新50ペンス

既発行硬貨中廃貨とならぬ分



1 シリング
(表 面)



1 シリング
(裏 面)



2 シリング
(表 面)



2 シリング
(裏 面)

1. 新通貨の呼称単位、略号および表示

(1) 呼称単位

基本単位をポンド (pound)、補助単位を新ペニー (new penny) とし、ポンドを100の補助単位に分割する旨白書にうたわれています。なお、ペニーの複数は従来と同様ペンス (pence) であります。

(2) 略 号

ポンド (pound) は従来どおり £

新ペニー (new penny) は p

新半ペニー (new half penny) は $\frac{1}{2}$ p

(3) 表示の仕方 (小切手、為替手形等)

(a) 手書の場合

Figures

Words (and Figures)

注(1) £29-00 Twenty-nine pounds only
 £29-26 Twenty-nine pounds 26
 注(2) £29-08 Twenty-nine pounds 08
 £0-26 Twenty-Six pence

注(1) Figure の場合£とPの間にハイフンを用いる

注(2) ペンスは2けたの数字であらわし、8とせず08とするが、読み方は……and eight pence となる

(b) 印刷の場合

Figures

Words (and Figures)

£29.08 Twenty-nine pounds 08
 £0.26 Twenty-six pence

注(3) £29.08

↑
 デシマル・ポイント

点の位置は数字の真中の高さとなる

(C) タイプの場合

Figures

Words (and Figures)

£29.00
£29.26

Twenty-nine pounds only
Twenty-nine pounds 26

注(4) £29.00

↑
タイプの場合はこの位置でもよいことになっている

なお、ポンドと新ペンスの額を数字であらわす場合は
£の略号とデシマル・ポイントのみを用い、新ペニーの
略号 (P) を後につけないことになっています。

正

£29.08

誤

£29.08 P

2. 切替のための過渡期間

1971年2月15日 (Decimal Day 略して D. Day) 以
降も当分の間 (1年半と予定されています) 旧呼称 (シ
リング、ペンス) 建取引の併存が認められますが、銀行
取引は D. Day を期してすべて新ペンス建となります。

3. 新硬貨等

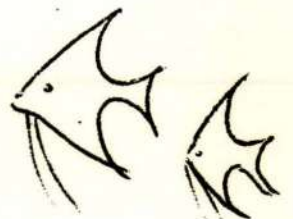
1頁と8頁に図示したとおり、6種類の新硬貨が十進
法通貨として使用されます。このうち、新5ペンス、新
10ペンスおよび新50ペンス (各々白銅貨*) は、現行1
シリング、2シリングおよび10シリングにそれぞれ換
算の上、既に流通していますが、新 $\frac{1}{2}$ ペニー (4頁記載
(注)参照) 新1ペニーおよび新2ペンス (各々青銅貨**)
は D. Day 以降流通することになっています。

* cupro-nickel coin

** bronze coin

なお、現在流通中の1ペニー (銅貨)、3ペンス (黄
銅貨) および6ペンス (白銅貨) は、切替のための過渡
期間中は使用されますが、同期間の終りに廃貨となるこ
とになっています。

また、1シリング貨と2シリング貨 (各々白銅貨) (2
頁に図示) は十進法移行後も新5ペンス貨と新10ペンス
貨として流通すると報ぜられています。



(注) 決済通貨として新たに $\frac{1}{2}$ ペニー硬貨が発行されますが、銀行の記帳単位は1ペニーですから、仮に小切手、手形等に $\frac{1}{2}$ ペニーの金額記載があった場合は、すべて切捨記帳されることとなります。

(備考) ちなみに、本邦硬貨の場合

1,000円貨は銀貨 (silver coin)

100円貨は銀貨 (silver coin) と白銅貨 (cupro-nickel coin)

50円貨はニッケル貨 (nickel coin) と白銅貨 (cupro-nickel coin)

10円貨は青銅貨 (bronze coin)

5円貨は黄銅貨 (brass coin)

1円貨はアルミニウム貨 (aluminum coin)

となっております。

以上硬貨について述べましたが、紙幣は現在の1ポンド、5ポンド、10ポンド、20ポンドがそのまま流通することになっています。(10シリング紙幣は1970.11.20以 上になっています。)

D. Day 以降使用される通貨一覧表

		(現 行)	切替過渡期間	最終流通通貨
硬	1 ペニー	○	○	×
	3 ペンス	○	○	×
	6 ペンス	○	○	×
	1 シリング	○	○	○
	2 シリング	○	○	○
	1 クラウン* (5 シリング)	○	○	○
	新 $\frac{1}{2}$ ペニー	×	○	○
	新1ペニー	×	○	○
	新2ペンス	×	○	○
	新5ペンス	○	○	○
紙	新10ペンス	○	○	○
	新50ペンス	○	○	○
	1 ポンド	○	○	○
	5 ポンド	○	○	○
	10 ポンド	○	○	○
幣	20 ポンド	○	○	○

* おもに蒐集用 太字は新硬貨

4. 銀行営業日

十進法移行切替作業のため、英国の銀行は1971年2月11日(木)、12日(金)の両日を臨時休業として、一斉に記帳切替が実施されます。したがって、通常の休日である13日(土)、14日(日)を含め営業は4日間行なわれません。

十進法移行のための切替作業実施					changeover period (切替のための過渡期間)
10(水)	11(木) 臨時休業	12(金) 臨時休業	13(土) 休日	14(日) 休日	15(月) D・デー 銀行取引は 建设银行 の新ペン スは
18カ月 →					
旧呼称(シリング)の銀行 存取引を認められ が認められなくなる が認められなくなる の併					

5. 銀行の休業期間に期日となる為替手形および約束手形の取扱

(1) 恩恵日の最終日(実際の支払日)が1971年2月11日(木)もしくは12日(金)にあたる場合は2月10日(水)に支払が行なわれます。

(2) 恩恵日の最終日が13日(土)もしくは14日(日)にあたる場合は15日(月)に支払が行なわれます。

(3) 11日(木)または12日(金)を期日とする確定日払の手形で、恩恵日の適用を受けないことを明示してある場合(例えば、Pay on Feb. 11, 1971 (FIXED)と記載してある場合)には、引受人の option によって10日(水)あるいは15日(月)に支払が行なわれます。

6. 新通貨への換算

今回の切替は前述のとおり、現行1ポンド=240ペンスを新100ペンスに換算するため、当然のことながら端数の切上げ、切捨ての問題が生じますが、これについては法的に定められた Conversion Table(注)を使用して換算することになっています。この Table をもとに作成した“Sterling Decimal Conversion Table”(英ポンド補助通貨十進法切替に伴う換算表)を本稿末尾に掲げましたので、あわせてご参照下さい。



(注) Banking and Accounting Table
(Whole new penny table)

£sd	£p
1d	0p
2d	1p
3d	1p
4d	2p
5d	2p
6d	3p
7d	3p
8d	3p
9d	4p
10d	4p
11d	5p
1s 0d	5p
1s 1d	5p
1s 2d	6p
1s 3d	6p
1s 4d	7p
1s 5d	7p
1s 6d	7p
1s 7d	8p
1s 8d	8p
1s 9d	9p
1s 10d	9p
1s 11d	10p
2s 0d	10p

前頁に掲げた Table は今回切替に当って基準となる 2 シリング以下の換算表であります。

2シリング以上の場合は、先ず2シリングで除算し、2シリング以下の端数については、この基準換算表を使用することになっています。

(換算—正解例)

£32 3s 6d の場合
 £32 = £32
 2s = 10p (3s ÷ 2s × 10p)
 1s 6d = 7p

£32 3s 6d = £32.17

(換算—誤算例)

上記の場合
 £32 = £32
 3s = 15p (1s = 5p × 3)
 6d = 3p

£32 3s 6d = £32.18

とはならないので注意を要します。

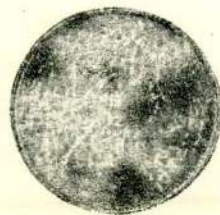
英国に追随して十進法を実施する国の一覧表

国名	実施年月日	新通貨単位 (米ドル換算)	D. Day 前の 通貨単位 (米ドル換算)	備考
アイルランド	1971. 2. 15.	pound =100 pence (=2.40米ドル)	Ireland pound =20 shillings =240 pence (=2.40米ドル)	十進法採用と補助通貨単位の呼称変更 英ポンドと等価
マラウイ	1971. 2. 15.	kwacha =100 tambala (=1.20米ドル)	Malawi pound =20 shillings =240 pence (=2.40米ドル)	十進法採用と通貨単位の呼称変更 1 kwacha = 1/2 英ポンド
ガンビア	1971. 後半 (日取未定)	dolas =100 butut (=0.48米ドル)	Gambia pound =20 shillings =240 pence (=2.40米ドル)	十進法採用と通貨単位の呼称変更 1 dolas = 1/4 英ポンド
マルタ	1972年中に移行の予定であるが、 実施要領未定		Maltese pound =20 shillings =240 pence (=2.40米ドル)	
ナイジェリア	未定であるが、いずれ実施の方針		Nigeria pound =20 shillings =240 pence (=2.80米ドル)	

新硬貨(裏面)



50P



10P



5P



2P



1P



1/2P

現行通貨
相当額

(10シリング)

(2シリング)

(1シリング)

(4.8ペンス)

(2.4ペンス)

(1.2ペンス)

現在流通中

D. Day (1971. 2. 15) 以降流通

7. 他国の追随状況 (前掲一覧表参照)

ポンド表示を現在使用している国で、十進法を実施する他国の動向は次のとおりであります。

(1) **アイルランド** 英国に追随、同国と同じ方法で1971年2月15日に十進法を実施します。

(2) **マラウイ** 英国と同日に十進法移行、ただし、新通貨の呼称単位は **kwacha**、補助単位は **tambala** (1 kwacha=100 tambala)、従来の 1 Malawi pound が 2 kwacha にあたります。

(3) **ガンビア** 日取は未定ですが、1971年後半に十進法実施、新通貨の呼称単位は **dolasy**、補助単位は **butut** (1 dolasy=100 butut)、従来の 5 Gambia pound が 1 dolasy にあたります。

(4) **マルタ** 1972年中に移行の予定ですが、実施要領は未定であります。

(5) **ナイジェリア** いずれ実施の方針と伝えられております。



中(当行貿易為替相談所相談
ニュース 1970年 No. 12より
転載)

STERLING DECIMAL CONVERSION TABLE (英ポンド補助通貨十進法切替に伴う換算表)

s.d.	p	s.d.	p	s.d.	p	s.d.	p	s.d.	p	s.d.	p	s.d.	p	s.d.	p	s.d.	p	s.d.	p		
0-0	00	1-11	10	3-11	20	5-11	30	7-11	40	9-11	50	11-11	60	13-11	70	15-11	80	17-11	90		
0-1		2-1		4-1		6-1		8-1		10-1		12-1		14-1		16-1		18-1			
0-2	01	2-2	11	4-2	21	6-2	31	8-2	41	10-2	51	12-2	61	14-2	71	16-2	81	18-2	91		
0-3		2-3		4-3		6-3		8-3		10-3		12-3		14-3		16-3		18-3			
0-4	02	2-4	12	4-4	22	6-4	32	8-4	42	10-4	52	12-4	62	14-4	72	16-4	82	18-4	92		
0-5		2-5		4-5		6-5		8-5		10-5		12-5		14-5		16-5		18-5			
0-6	03	2-6	13	4-6	23	6-6	33	8-6	43	10-6	53	12-6	63	14-6	73	16-6	83	18-6	93		
0-7		2-7		4-7		6-7		8-7		10-7		12-7		14-7		16-7		18-7			
0-8	04	2-8	14	4-8	24	6-8	34	8-8	44	10-8	54	12-8	64	14-8	74	16-8	84	18-8	94		
0-9		2-9		4-9		6-9		8-9		10-9		12-9		14-9		16-9		18-9			
0-10	05	2-10	15	4-10	25	6-10	35	8-10	45	10-10	55	12-10	65	14-10	75	16-10	85	18-10	95		
0-11		2-11		4-11		6-11		8-11		10-11		12-11		14-11		16-11		18-11			
1-0	06	3-0	16	5-0	26	7-0	36	9-0	46	11-0	56	13-0	66	15-0	76	17-0	86	19-0	96		
1-1		3-1		5-1		7-1		9-1		11-1		13-1		15-1		17-1		19-1			
1-2	07	3-2	17	5-2	27	7-2	37	9-2	47	11-2	57	13-2	67	15-2	77	17-2	87	19-2	97		
1-3		3-3		5-3		7-3		9-3		11-3		13-3		15-3		17-3		19-3			
1-4	08	3-4	18	5-4	28	7-4	38	9-4	48	11-4	58	13-4	68	15-4	78	17-4	88	19-4	98		
1-5		3-5		5-5		7-5		9-5		11-5		13-5		15-5		17-5		19-5			
1-6	09	3-6	19	5-6	29	7-6	39	9-6	49	11-6	59	13-6	69	15-6	79	17-6	89	19-6	99		
1-7		3-7		5-7		7-7		9-7		11-7		13-7		15-7		17-7		19-7			
1-8	10	3-8	20	5-8	30	7-8	40	9-8	50	11-8	60	13-8	70	15-8	80	17-8	90	19-8	00		
1-9		3-9		5-9		7-9		9-9		11-9		13-9		15-9		17-9		19-9			
1-10		3-10		5-10		7-10		9-10		11-10		13-10		15-10		17-10		19-10			
(注) s.=現行シリング d.=現行ペンス p.=新ペンス																			19-11	100	= £ 1.00

本表を使用するの換算ならびに記載例
 (1) £ 32 4s 6dの場合
 £ 32 4s 6d = £ 32 23p } → £ 32.23
 (2) £ 85 19s 11dの場合
 £ 85 19s 11d = £ 85 100p } → £ 86.00

広報欄

❖ 電話番号変更

川崎汽船会社の電話番号が変わりました。

新 → 913355

尚住所は今まで通り。

❖ お知らせ

○ 3月上旬に3月例会として中華総商會とワッ食會を予定するもようです。

詳細は決定次第連絡致します。

○ 今般大坂商工会議所より当所 Executive Secretary 溝口真也氏が3月中旬着任する予定です。



MONTHLY REVIEW

JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY SINGAPORE

